



発行 生駒市環境基本計画推進会議

発行日 2015年11月27日 No. 66

連絡先 生駒市環境基本計画推進会議事務局 (生駒市役所環境モデル都市推進課内) TEL 0743(25)1135

ECO-net 生駒周年記念イベント

行政との協働と市民活動推進と

生駒市環境基本計画推進会議 (ECO-net 生駒)



11月1日(日)図書館で、生駒市環境基本計画推進会議6周年記念イベントと懇親会を開催しました。開会あいさつで矢田代表は、総会後速やかに全体会を開くことができなかつたとお詫びし、生駒市環境基本計画の推進とアンケートの意見を取り入れた新たな活動を提

起していくと述べました。

6周年を記念して「行政との協働と市民活動推進と」をテーマに、大阪ボランティア協会事務局長水谷綾氏に講演をいただきました。休憩をはさんだ意見交換会では、先に会員の皆さんに協力してもらったアンケートの集計結果報告を矢田代表からおこないました。

意見交換会では、情報伝達、ECO-net 生駒はハードルが高い、行政と価値観を共有できていない、水谷氏の講演を深耕すればよい、環境と防災は連携をもちたい、達成感目標設定から、若い人や現役の参加は無理、税金(助成金)の使途を情報開示、目標値なく戦術もない、準会員からはいってもよい、楽しく合宿しよう、などの意見が出されました。

第1部 周年記念講演

水谷綾氏の講演から

ベースはワクワク感 市民活動の活性化は実践の中で

——こんにちは、のあいさつの後、力強い返事に元気をもらえた。市民活動推進に20年続けてきた経験を踏まえて話す。

推しすすめる役割に考えさせられることが多い。自分・まち…。社会や地域のことを考えて動くことはすばらしい。自分ごととして活動するのはすばらしい。自発性を促すのは自発性=**セルフエンジン**

「共助社会づくり」とは「市民がつながり、活力と共助精神にあふれる社会をつくっていくこと」。期待する役割は**人と人との新しいつながり**をつくること。

◇活動参加理由⇒自己啓発や自己成長、支援したい、職業人や住民としての責務を果たす⇒**自己成長・利他精神**

◇参加の妨げの要因⇒時間がない(忙しい)、活動参加時の経費負担、ボランティアしたいが十分な情報がない(団体への信頼度)⇒**時間・負担・情報**

◇ボランティアの3原則⇒**自発性・社会性・無償性**

◇本質を押さえたコーディネーション⇒**共感する・理解する・納得する**

◇正解のない活動だからこそ**「原点」に立ち返し・確認する**⇒なぜ、これをするのか・会議や交流機会を持ち、企画やルール決定に関わる仕組み・ステップアップの機会、時には変わる勇気・変える勇気。

◇ミッションの設定⇒**明確な目標設定**が必要。価値観で左右されるミッション。

◇関ろうとする力を引き出す⇒関りたい側は、自分の**存在意味が認められ**主体的に組織の**目標達成に参加できる機会と場所を提供**。

◇**私がやりたいこと・私ができること・社会のニーズ**⇒活動の芽

◇活発さ・新鮮さが感じられる組織⇒①対象を絞る②伝わる言葉で課題を見せる③活動プロセスがわかる④ゴール・期間を示す⑤なりたい自分が見える。

- ◇活動に魅力やウリを見出している組織⇒①変わることを恐れていない②出会い・つながり・広がりがある③楽しさが大事④若い人にあつた媒体で情報提供⑤人材育成を意識
- ◇リーダーシップの発揮に必要な力⇒①どこへ・何のために・何を指してを明確にできる②人々にその意味をきちんと伝えられる③目指すことを一緒に取り組む土俵がつくれる
- ◇協働力をアップするには⇒①地域の取り組みに参画②交流的な場に出向く③事業主を巻き込む④新たな媒体を持つ⑤類似活動とつながる⑥寄付を集めてみる⑦ネットワークを仕掛ける⑧助成金を獲得してみる

市民力を発揮し、社会のチカラに！

第2部 懇親会

図書館市民ホールで行われた懇親会は、楠下監事の乾杯の発声ではじまりました。小紫雅史市長も駆けつけてくださり、ごあいさつをいただきました。

竜田川クリーンキャンペーン&ごみのポイ捨て禁止街頭啓発
可燃ごみ 2.6+ **不燃ごみ 0.6+**
自転車 3台 **テレビ 1台も**

11月1日(日)9時から、竜田川クリーンキャンペーン(河川堤及び川底の清掃)と、ごみポイ捨て禁止の街頭啓発をおこないました。

河川等の掃除には流域自治会・大瀬中学校・生駒南中学校や ECO-net 生駒の会員の皆さん方が、街頭啓発には生駒市自治連合会や、ECO-net 生駒・環境審議会・生駒市スカウト連絡協議会・日本たばこ産業(株)奈良支店の皆さんなど、併せて約1,000人が参加しました。堤に接している店舗の参加もありました。



環境シンポジウム 11月29日開催

再掲

ごみ減量これからが正念場
 ——今ある環境を次世代へ——

生駒市・生駒市環境基本計画推進会議

とき 11月29日(日) 13時30分~16時30分

ところ 南コミュニティセンターせせらぎ せせらぎホール

第1部 基調講演

「『ごみ』との新たな関係性~断捨離、ミニマリスト、そして...~」

講師 浅利 美鈴氏(京都大学環境科学センター助教)

第2部 パネルディスカッション

<パネリスト>

生駒市自治連合会長 藤堂宏子氏 生駒市環境基本計画推進会議 谷口タカ子氏 斑鳩町環境対策課長 栗本公生氏 生駒市長 小紫雅史氏

部会だより 自然・せいかつ・まちみち・エネルギーの各環境部会

せいかつ環境部会

かえっこバザール

11月8日(日)11:00~15:00、真弓小学校体育館で「かえっこバザール in いこま」を開催しました。同時に「プラレール広場」と「おもちゃ病院」も開設しました。雨天にもかかわらず11時前から来られる方もあり、会場は客足が途切れることなくにぎわっていました。

昼ごろには、ふるーらむで出店している唐揚げや焼きそば・おにぎりなどの移動販売があり、昼食を済ませてから遊ぶ家族もいました。

「ろすのん」食品ロス削減へ

今年度から食品ロス削減啓発に取り組んでいます。環境フェスティバルで協力いただいた市民の意識調査をもとに、8月には市内スーパーと意見交換会を開きました。

今月から、市役所食堂のテーブルに「ろすのん」の三角ポップを設置しました。公共施設には「ろすのん」のポスターを貼ります。

「ろすのん」の顔で市民の目を引きつけて、捨てられる食品がいかに多いか知っていただきたいと思います。もったいないをもう一度！

まち・みち環境部会

11月8日(日)9:30~9:50、ふるーらむで「みどりのカーテンコンテスト」の表彰式を小紫市長臨席のもと開催し、各賞を授与しました。

最優秀賞の坂口さんは、「応募は今年で止めようと思っていたのですが、最優秀賞をいただいたので来年もがんばります」と喜びを話しました。小紫市長からは、「環境モデル都市の実現を推進している生駒市。みどりのカーテンは、市民レベルでできる温室効果ガスの影響を押さえる取り組み」との講評をいただきました。

最優秀賞	坂口 律子様
優秀賞個人	池谷 烈様
優秀賞団体	生駒市福祉センター様 高山幼稚園様
審査員賞	生駒小学校様 生駒台小学校様

おめでとう
ございます！！



11月はエコドライブ推進月間
エコドライブは、人にも環境にも優しい運転方法です。
急発進・急ブレーキは避けましょう。

エネルギー環境部会

11月14日(土)、北コミュニティセンター研修室で「電力自由化セミナー」を開催しました。28名の参加がありました。来年4月から始まる家庭用電力自由化については関心が高く、参加者は真剣に耳を傾け質問も多く、室内は熱気があふれていました。

また11月21日(土)は「太陽光発電設置セミナー」を開催しました。8名の参加があり、住宅用太陽光発電が急速に拡大している中で、設備導入のメリット・デメリット、補助金、太陽電池の種類と特徴、業者の選択、契約及び工事段階での確認事項、設備の維持管理など、幅広い情報を提供しました。参加者は、太陽光発電の設置を予定されている、または設置するかどうか迷っている方がほとんどで、質疑やセミナー終了後の個別相談にも熱心に質問され、講師と部会メンバーとで相談に応じました。全員の方が「参考になった」とアンケートに書いて帰られました。

第4回再生可能エネルギー連続講座開催

生駒市民共同発電所2.3号機出資説明会開催(一社)市民エネルギー生駒主催

日時 12月5日(土)午後2:00~

場所 南コミュニティセンターせせらぎ

演題 「日本の再生可能エネルギー政策はこれで良いのか」

講師 関西大学准教授 安田 陽氏

※午後3時から、講演に引き続き出資説明会を開催します。

最終回になりますので是非ご参加ください。

ワンディッシュェイド協会 10周年記念

—リユースでゴミ減量—

記念講演:

「陶磁器食器の資源循環の仕組み」



11月21日(土)コミュニティセンターで、ワンディッシュェイド協会10周年記念講演と、仲川奈良市長・山下前生駒市長・小紫生駒市長・グリーンライフ21PJ 長谷川善一氏とワンディッシュェイドの自称“おばさん”4人によるユーモアあふれるパネルディスカッションがありました。終了後、もったいない陶器市とワンディッシュェイドカフェが開催されました。